



くまモンも応援に!!

東日本大震災、台風12号の復興を祈って宣誓。
 (ねんりんピック：熊本健康おじゃめ大会)
 滝川 江藤 守立さん
 江藤 郁子さん

あなたと議会の情報ネットワーク

あおぞら21

平成22年度決算を認定	2
一般質問7人が登壇	6
議会報告会開催	14
御船町名誉町民に松永昌一氏	18



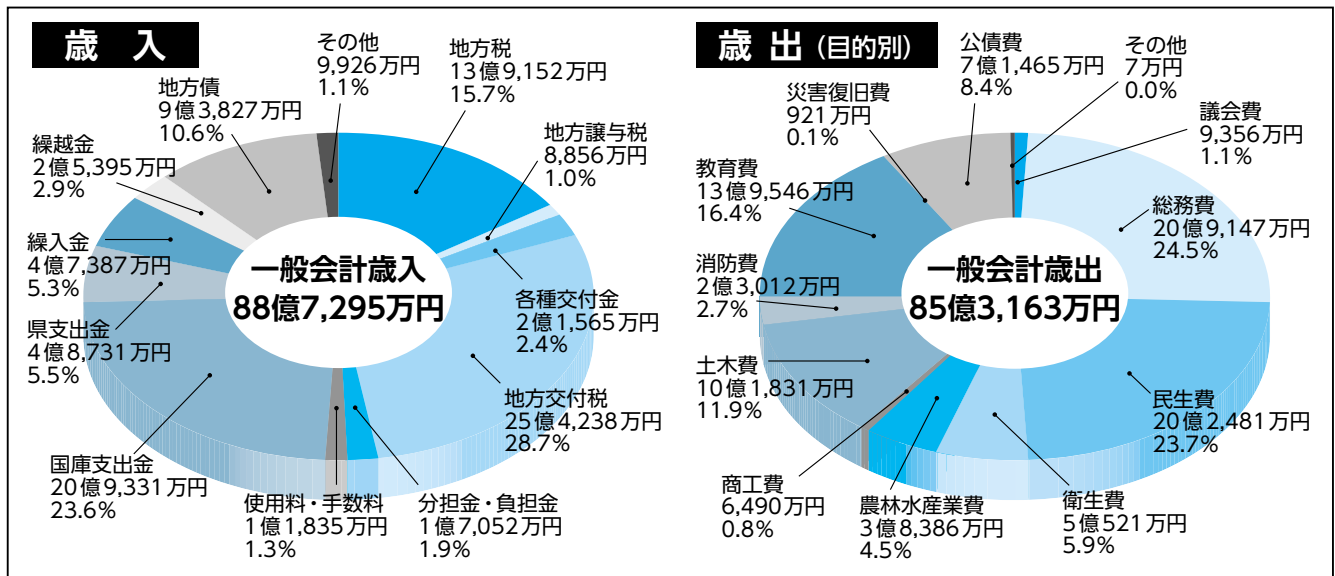
平成22年度決算

9月決算議会を9月8日から15日まで開いた。

財政健全化比率及び資金不足比率の報告、御船町名誉町民の選定、条例案1件平成22年度一般会計決算9件、平成23年度補正予算6件及び人事案件1件が町長より提案された。

また、請願1件、陳情2件の審議を行った。議会から郵政民営化の見直しに関する意見書の提出を提案した。

一般質問は15日に行われ7人が登壇した。



決算審議主な質問

一般会計

不用額4億円超の理由は

田端議員 不用額が約4億1,760万9,000円出ているが、4億円を超える多額の金額になっている理由は何か。

竹下総務課長 まず、2億9,294万2,000円。バイオマスの返還金の収入部分が入ってこなかった、積み立て部分が積み立てられていないという部分と、情報通信基盤整備の繰り越し、1億1,300万円。この大きなものが2つあった。

田端議員 情報通信基盤整備事業1億1,300万円の不用額の理由は何か。

竹下課長 入札の残金。

沖議員 子どもたちが予防接種を受ける際、小児科専門でない先生が注射をされる。それに対して保護者が心配していることもあるかと思う。

町外の小児科で予防接種を受けても有料というのは変わらないか。今後の方針はどうか。

藤本保健衛生課長 予防接種については、定期接種と委任接種というものがある。予防接種法に基づいて実施される定期接種は麻疹・風疹、日本脳炎、ポリオ、BCGなどがある。これは、現在御船町の医療機関と契約をして接種を行っている。任意接種は予防接種法に定めてない例えば現在ではヒブとか小児肺炎球菌等で、町内の医療機関で接種をすれば無料化になっている。町外の病院に行った場合には実費がかかる。国は、定期接種化を進める動きがあり、24年度からは定期接種の広域化を図っていく。町外接種の要望が多ければ検討が必要である。

田中議員 滝川の「みんなの広場」の簡易トイレは、十分機能は果たせていると思っているか。改善の考えはないか。

山本町長 かわまちづくり事業が活

かせないか協議し前向きに検討したい。

田上議員 補助金、交付金のなかで、スポーツ振興センター負担金とあるが、町で全部負担しているのか、保護者も一部負担しているのか。

米満学校教育課長 保護者から一部負担金を取っている。

田中議員 光をそそぐ交付金事業とあるが、この目的は何か。

臨時交付金とかきめ細やかな交付金とは何か。

野口企画財政課長 正確には「住民生活に光をそそぐ臨時交付金」という名前になっている。きめ細かな臨時交付金、これは直接住民生活あるいは教育関係等を中心に不備なところというので、市町村に対してのある程度裁量を持たせた交付金である。住民生活に光をそそぐ臨時交付金では、主に教育関係に使わせていただいているというのが現状。

また、高齢者、福祉関係にも使っており、別途支給された臨時的な交付金である。

9 会 計 を 認 定

イノシシ対策は

吉村議員 報償金で、イノシシ駆除100頭25万円ということは、1頭2,500円か。農家にとっては大変な被害を被っている。1頭の確認はどのようにされるか。自主申告か。

藤岡経済振興課長 1頭2,500円で、

しっぽで確認している。

井本議員 議会報告会で、滝尾校区から滝尾小学校周辺のイノシシ対策を強く要望されていた。前々から要望していると聞いたが、学校周辺のイノシシ対策はどのようにしているか。

米満課長 学校から相談があり、昨

年電柵を予算化することを計画した。しかし、学校と調整をしたところ、子どもが電柵にかかる可能性があるためやめてもらえないかと相談があった。それに代わりLEDを学校に購入して使ってもらっている。それ以降、被害は少し減った。現在プール周辺に砂利敷きを検討されている。

特 別 会 計

年間144人が誕生

吉村議員 出産一時金の支払いが18年度から毎年30人前後、また死亡者もほぼ同数。子供は将来の御船町を背負う大事な宝であり少しでも多くの誕生を望むが、町長の考えはないか。

山本町長 5人以上とか6人以上の子供がたくさんいる方に対する手当てができないかとの話もある。子育て環境を良くする論議を深めていきたい。

吉村議員 社会保険加入者の出産人数は分かるか。

高浜町民保険課長 住民基本台帳上平成22年度の出生が144名なので110名かと思う。

住宅改修業者の選定は

福永議員 介護保険で十数億円が支払われているが、御船の民間業者が一番参入しやすい場所として住宅の改修工事および物品購入があると思う。御船の業者はどれくらい参入されているか。

藤井福祉課長 住宅改修では町内業者が7件ある。町外業者は65件。福祉用具購入は全体で56件あるがすべて町外になっている。

福永議員 基本的には住宅改修についてはどの大工さんでもできると思うが、72件のうち1割。90%以上が町外業者。理由はどう考える。

藤井課長 住宅改修は簡易な改修で、手すりの取付け、段差解消、トイレを和式から洋式に変えるといったものが多い。これは補助金が出るの

で、書類等の整備をしていただかないといけない。地元業者にとっては書類の手続きが不慣れでスムーズに行かないといったことがある。事業者の選定は本人とケアマネジャーの方で相談されて申請されている。

緑の村 今後の運営どうする

永山議員 ボランティアでステージを作ったが、工事請負費49万円とは何か。

藤岡経済振興課長 オートキャンプ場整備で49万円上げている。

永山議員 町長が23年度にコンサルタントを入れると話されたが、今後利用者の意見を十分に聞いて選定をしてほしい。

山本町長 緑の村の運営は、県の夢チャレンジのアドバイザー制度を利用し生かしたい。

緑の村は、施設が30年ほど経っており、キャンプ場のバンガローやシャワー室などの改修も必要。町単独でやっていける入場者数も見込めない。原点に帰って町民と話をしたい。

水道事業特別会計

年間の漏水の量は

沖議員 夜間漏水検査があっているが年間どのくらいの漏水があっているか。

浦田上下水道課長 上水道で19万トン、簡易水道で5万トン。

沖議員 金額にすればいくらになるか。

浦田課長 大体4,000万円。



乳幼児歯科検診

補正予算

◆一般会計に1億4,209万7,000円追加補正 **可決**

総額1億4,209万7,000円を追加し、67億3,895万7,000円となった。

◆国民健康保険特別会計に749万3,000円追加補正 **可決**

総額749万3,000円を追加し、24億979万6,000円となった。

◆介護保険特別会計に911万5,000円追加補正 **可決**

総額911万5,000円を追加し、15億3,896万3,000円となった。

◆後期高齢者医療特別会計に168万2,000円追加補正 **可決**

総額168万2,000円を追加し、1億9,235万円となった。

◆公共下水道特別会計に20万円追加補正 **可決**

総額20万円を追加し、6億5,839万3,000円となった。

◆水道事業会計に323万5,000円追加補正 **可決**

総額323万5,000円を追加し、3億2,657万1,000円となった。

雑収益補正前366万6,000円に補正額323万5,000円で補正後690万1,000円となった。

9月の議会の動き

- 1日 御船町甲佐町衛生施設組合議会
- 5日 全員協議会
各常任委員会
- 8日 議会
全員協議会
各常任委員会
オアシス秋桜祭り
- 12日 議会(～15日)
- 16日 袴野中小学校組合議会会議
- 22日 議会改革推進特別委員会
- 26日 議員視察研修(～28日)
- 29日 議会運営委員会
- 30日 金婚夫婦伝達式

陳情「未整備排水路」 片志和地区

継続

今回の陳情の未整備排水路について、要旨及び理由説明を受けた後、現地視察を行った。

現地では、陳情された区長、区民より排水路の現状及び管理状況について説明を受けた。土地改良区の対応が未定である。町単独としての支援は出来ない。今後、担当課との話し合いが必要とのことで継続審議とした。



区長を先頭に現地を視察

陳情「町道編入」 玉虫地区

不採択

玉虫地区の町道編入継続審議については、前回、前々回の審議に都市計画区域の認定基準に達せず、土地の登記等の問題、頭首工へ通じる栗畑の所有者からの了承が得られなかったため、今回は不採択としたら

どうかとの意見が出された。

このような意見を踏まえ、全員一致で不採択とした。

今後においても、里道としての取扱いとし、地域住民の生活道路として利用されているため、当該道路の整備等について、地元から要望があった場合は材料支給による地元施工をお願いし、道路管理を行ってもらいたい。

郵政民営化見直しに関する 請願

採択

請願者を代表して田上御船郵便局長から説明を求めた。

市町村の合併に伴い効率的な行政運営が進む一方、行政のサービス低下など、ひずみが明らかになっている。郵政改革法案は、地方公共団体との協力を築きながら、福祉や社会保障制度の一環として、地域の再生に寄与することを明記している。日本郵政株式会社の組織は、郵便事業、ゆうちょ銀行、かんぽ生命の三事業で成り立っている。

取扱いの少ない地方の郵便局は閉鎖に追い込まれるなど、国民生活の利便性が低下し更に地域社会で金融サービスが受けられなくなる可能性があることから一段と過疎化が進行すると危惧される。以上のような審査の結果、全員一致で採択と決定した。

人事案件



教育委員

徳永 廣敏 氏
御船町陣

昭和23年4月13日生

◆御船町名誉町民に松永昌一氏を選定 **可決**

御船町小坂で出生され御船高校を卒業後、水道機器の特許認証を取得された。(18面に関連記事)

◆御船町暴力団排除条例の制定 **可決**

町民の安全で平穏な生活を確保するため制定された。

[illegible]

一般質問



Q 袴野小中学校 統合の考えはあるか

A 手順を踏まえ方向性示したい

井本 昭光 議員



避難場所に指定されている袴野小中学校

井本議員 現在、袴野中学校は、休校。小学校においては、全校児童7人。1年生2人、2年生0人、3年生1人、4年生0人、5年生3人、6年生1人。今後は益城町からの入学も望めないということだ。

また、耐震調査が行われるが、きびしい判定が下りる可能性が高いことが予想されるし、学校のある場所は地すべり危険地区に指定されている。

総合的に考えるならば、子どもの安全な教育の確保をはじめ将来のことを考え、七滝中央小学校との統合も視野に入れて検討してはどうかと思うが。

山本町長 この件についてはこれまでも懸案事項であったと思う。

今まで各地で起きている災害を見た場合に、数百年に一度という大規模な被害が出ており、想定外のことが起こっている。そういう面では、地すべり地域の指定を受けている袴野地域も安心であるとは言えない。マスコミの報道等でご存じかと思うが、当施設は耐震診断調査が行われていない。今議会で補正予算に計上

したように耐震調査を行い、現況を把握することとしている。

平成23年度から中学校が休校となる中、平成22年3月、12月に地域保護者との意見交換を行った。そのときの意見では、地域にとって学校の存在は大きく、住民挙げての運動会、文化祭等地域の核となり、活気ある施設となっているということであった。今後の施設運営については、耐震診断と現状の把握を行い、建物についての方向性を見いだしていきたいと考えている。

学校の今後の運営方法については、去る8月29日に組合長、副組合長、教育委員、教育長合同会議を行った。地域保護者との情報交換に出た意見も考慮しながら、今後の学校経営のあり方を保護者及び地域住民、議会と一緒に存続、統合、廃校などの選択肢を示して、時間を詰めて検討し方向性を見いだしていくことにしている。

増永教育長 私のほうでも4点考えている。1点は、益城町としっかり協議をしていかなければいけないという点。2点目は、学校は子どもの

安全安心を守るところであり、今後、耐震調査も行うので、そこを踏まえて慎重に判断をしなければいけないという点。3点目は、子どもの教育環境の問題。現在7人。学年によっては1人というところもある。同級生が1人でいいのか、7人の教育環境が本当に子どもにとっていいのか、その辺も慎重に議論しなければいけない。4点目は、地域住民の方々の思い、保護者の思い。その辺も聞きながら総合的に慎重に検討していかなければならないと考えている。

井本議員 袴野小中学校の建物はとても老朽化している。耐震調査を行っても多額の費用が必要になるのではないかな。

米満学校教育課長 改築等がなされており、小学校は築31年の部分もあり、築47年の部分もある。中学校も、同じく築31年、47年経っている。

井本議員 避難場所に指定しているのではないかな。

米満学校教育課長 益城町は避難場所に指定している。

井本議員 いろいろ手順を踏まえて今後方向性を示したいということを確認した。地域の避難場所であるということも、しっかりと考慮して、今後検討していただきたい。



地すべり防止区域に指定されている

Q 学童保育はどうなる！

A 御船(くるみ)学童は23年度建設

田上 忍 議員



一般質問

田上議員：御船町の学童施設は一部老朽化したもの、公民館との併設利用などがあるが今後、施設整備についてどう考えているか。

山本町長：現在、学童保育施設は、専用施設4ヶ所、公民館施設1ヶ所、旧幼稚園施設1ヶ所、個人の家1ヶ所の計7ヶ所となっている。今後の施設の整備計画については、平成23年度、御船小学校敷地内に「くるみ学童保育クラブの建設」、平成24年度に、「高木学童保育クラブの建設」を計画している。



老朽化した高木学童(うさぎ)

滝尾学童施設は現状維持

滝尾学童保育は、現在のところ、建設計画はない。現状として、滝尾校区の地域の方の理解のもと、公民館分館を利用しているが、地域の方とのトラブルや不便さもなく、問題は発生していない。地域の方が公民館を利用されるときは、地域の方を優先とし、使えないときは、学校の図書館や体育館を利用している。また、滝尾学童保育の保護者から建設についての要望も今のところ上がっていない。

今後については、保護者等の意見を踏まえながら、随時検討していく。



滝尾公民館を利用している滝尾学童(たんぼぼ)

高木(うさぎ)学童は建て替えへ

老朽化が見られる、高木学童保育の施設については、平成24年度に施設整備を計画しているが、現在、室内や周りの樹木がシロアリに侵されている状況だ。施設整備まで1年以上を有するので、子どもたちの生活の場所でもある施設の安全面等を考慮し、早急な対応をしていく。

田上議員 これまでに建設された施設は数値の上では同じ広さであるが中に入ってみると異なる。細長い施設では圧迫感を感じるし道具をおいたら狭く感じる。利用者側の立場になって設計すべきである。

藤井福祉課長 御船学童どんぐりは敷地の関係で細長くなってしまった。今後も保護者の意見を取り入れて設計していく。

補助金は現状維持！

田上議員 補助金は利用者の人数により変動する仕組みだが利用者が減

少しした場合どうするのか。

藤井課長 補助金は、平成21年度に国の補助基準の改正があり、利用者の保育料に併せた補助金となった。しかし、その補助金では運営的に厳しいとの要望が保護者からあり検討した結果、国の補助基準プラス、御船町単独補助を出すことにした。

今後においては、国の補助基準通りとすることが、本来の姿であるが、運営については、課題点も多く、大変厳しい状況であるので、学童の自助努力をお願いしながら、毎年度各施設の運営状況を把握し、より良い方向で進めていく。



旧御船幼稚園を利用している御船学童(くるみ)

田上議員 学童保育の運営費のほとんどは人件費である。預かっている児童が多くても少なくとも最低の人件費は必要である。国の指針である補助金は保護者が負担している金額までである。その規定通りになったら学童保育の運営は難しい。

最低限必要な経費があるので今後、どのような人数になっても運営ができる補助金は必要である。保護者に対しても無駄な出費は抑えて運営するように指導が必要だ。

一般質問



Q 交通不便地域の現状と対策は？

増田 安至 議員

増田議員 交通不便地域の現状と対策はどうか？

山本町長 総括的には、平成19年に地方バスの特別対策補助事業が大幅に見直され、地方の公共交通機関の路線縮小見直しが行われた。御船町においては、上野・田代方面と水越方面が廃止になった。町としては中山間地の公共交通機関がなくなることの影響が大きいと考え、廃止対象地域と協議を重ね、コミュニティバスの検討を行い、便数・時間帯を検討して20年度より運行を開始した。

高校生の利用も減少し、自転車あるいはバイクという通学形態に変わった。バス利用は1便あたり0.2人であり、廃止も検討。かなり無理もある。

町から毎年1,000万円を超える補助金を支出！

	平成21年度	平成22年度
コミュニティバス	約1,089万円	約1,068万円
定期路線バスへの補助	2,713万円 (うち国補助294万円)	3,032万円 (うち国補助277万円)

コミュニティバス(1便当たり)利用者

	平成19年度	平成22年度
御船田代線	5名	6.8名
水越線(一日3往復)	2.2名	3.3名

85囑託区の中で2路線をコミュニティバスが走っている。近年、中学校のスクールバスとコミュニティバスの併用など利用者の増加はある。コミュニティバスは、21年度に浅の藪地区へと、水越の有水地区まで運行範囲を延長。出来るだけ交通不便地域の解消を行っている。定期路線バスでは熊本バスと産交バスが残り、1日の乗降客数0.5という路線もある。益城線では

スクールバスとコミュニティバスの利用範囲は？

スクールバスは、小学校が七滝中央小学校と滝尾小学校に統合された地区の児童を対象に送迎。委託内容は、麻生交通がAルート15名利用、Bルート9名、Cルート15名を担当し、御船タクシーが水越から滝尾小学校に5名の児童を送迎。基本的にはスクールバスは児童・生徒が利用。保護者の同乗はできない。

コミュニティバスは安全性を考え、従来のバス停を基準として停留所(陸運局に届出)を配置している。利用者については運行会社が把握。町内に40か所のバス停を設置。

街路灯の現況と維持管理について

街路灯のメンテナンスとリスク管理はだれが？

増田議員 高齢化が進むなか、電球の交換を行う際に高い位置からの転倒による、死亡例も報告されている。メンテナンスを誰が行うのか、交換

の際は危険が伴い国道路沿い・斜面側などでは大きなリスクが伴う。現況での街路灯の維持・管理は誰が行うのか。

山本町長 町では、平成18年度策定の総合計画に基づいて、夜間における犯罪防止と児童生徒の登下校時の犯罪防止に努めている。設置は平成17年度から町で行い、管理を85囑託区で割り振りながらお願いしている。電気料は町が負担している。



国道路沿いの街灯

御船町には平成23年3月31日現在で1,741基ある。電気使用料が年間に約470万円程度。更に今年の3月以降で1,741基とは別に、11基と42基が増設された。合計1,794基となった。今回設置した防犯灯の42基はLED球を使用している(交換は20年後)。電球交換は、以前から区長さんをお願いしている。既存の1,800基について町職員の対応は現状無理。できるだけ区で対応して頂きたい。どうしても無理であれば、役場に相談(総務課)いただきたい。すべて業者に委託すると莫大な金額になる。



スクールバスの送迎風景

Q どうする、中山間地住民の交通手段



一般質問

田端 幸治 議員

田端議員 中山間地においては年々過疎化が進むと同時に少子高齢化に歯止めが掛からない状況にある。そこで住民生活に欠かせない買い物や病院への公共交通手段の確保が急務であるが、町長はどのように考えるか。

山本町長 現在、地方バス・コミュニティバス・スクールバスを運行している。それぞれにかかる経費が総額で約5,000万の支出になっており、財政的にも厳しい状況だ。利用もなかなか伸びない状況であるので運行方法や要望と照らし合わせながら今後の運行については検討していく。

町立上野保育園送迎バスの再運行を

田端議員 中山間地域に於ける若者定住促進の一環として、町立上野保育園送迎バスの再運行を早急に実施すべきと考えるが町長はどのように考えるか。

山本町長 現在一部スクールバスを利用している中、バスに乗る時間が早いことや、夏休みの利用については課題があるが関係者と相談して取り組んでいる。町立上野保育園の送迎については行財政改革の一環として廃止になった経緯であり再運行は考えていない。

田端議員 地域間格差の縮小と安心安全な住民生活を守るためにも「御船町公共交通整備計画委員会」を早急に立ち上げ、公共交通網の再整備に取り組むべきでは。

山本町長 今後、中山間地域の交通不便地域について、また平坦においても定期路線バスの再編など、検討する時期に来ていると考える。

総合計画の進捗状況は

田端議員 御船町は平成13年度から22年度まで第4期御船町総合計画を軸に町づくりに取り組んできたが、現在第5期総合計画がいまだ公表されない状況である。大型事業も進んでいる中、御船町の将来像を示す総合計画を早急に町民に示すべきと考えるが、現時点における取り組み状況は。

山本町長 総合計画については、昨年からはスタートしたが、予定より遅れている。地方自治法の改正に伴い御船町総合計画策定条例を策定する必要がある。

現在町民アンケートを纏め上げ、素案がほぼ出来ている状況であり今後各課内意見を集約し町民会議や総合計画審議会の意見を聞き最終的に基本構想・基本計画を含め議会の各委員会に素案を示し意見を聞き取り

調整することでより良い総合計画になるものとする。また時期については平成24年3月議会に上程し議会の議決をいただきたい。

田端議員 山本町長はマニフェスト型行政運営を進めているが、総合計画とマニフェストはどちらが上位計画か。また、双方の整合性をどのように図っていくのか。総合計画についてはこれまでどおり10年計画にすべきでは。

山本町長 御船町総合計画が上位計画である。総合計画の基本構想を尊重しマニフェストの施策、事業を総合計画の基本計画の一つの項目として落とし込んでいこうと考えている。マニフェストの内容を実行に向けた検討を秘書係が中心に、実践会議や実行部隊などの組織で行っていく。総合計画とマニフェストを同時期に町長任期とあわせて8年計画で一体的に取り組んでいきたい。



民間保育園で活用されている送迎バス

一般質問



Q よりよい事業にするため、場所を含め柔軟に変更を。

A 制度上変更は可能だが、場所については現計画がベスト。

福永 啓 議員

恐竜博物館の場所移転を含めた計画変更はできないか

福永議員 町長は、恐竜博物館等の場所移転について、「出来ない」と再三発言している。交付金事業の制度上出来ないのか、制度上は出来るが、町として現在の計画がよいと思っているので変更しないのか。

松岡建設課長 制度上変更できないのではない。現在の計画で、今までを経緯からこれら施設の場所は現在の位置がベストであると思うのでそこに設定したい。

山本町長 三角地（ふれあい広場予定地）に恐竜博物館という意見もあった。しかし、シンボルロードの位置づけを考えた時、メインになる恐竜博物館を御船幼稚園跡地に置こうと私が判断した。今ある計画を住民主体でどのようにしたら集客が見込めるか提案型に戻さないといけない。計画は決まっているので変えられない。

福永議員 国の担当者に直接聞いたが、場所の移転等計画の変更は可能であり、よくある事だそうだ。また、手続きは容易であるとのことだった。これだけ大きな事業だから、場所を含めた計画、設計、すべての可能性を排除せず、町民と共に良い物を作

る努力をしたらどうか。

山本町長 意味はわからないではないが、都市計画は5年、10年のスタンスで動いている。常に議論が遅い。今決まった計画で具体策を提案してほしい。変更する理由が見えない。

福永議員 この事業のメインは恐竜博物館である。幼稚園跡地に恐竜博物館を含め3つの施設を作る現在の計画は駐車場の確保や規模を含め問題が多い。例えば、ふれあい広場に恐竜博物館と観光交流センターを持っていけば、規模も大きく出来るし駐車場もある程度は確保できる。又、旧幼稚園跡地の子育て支援センターも単独になり充実できる。恐竜博物館のような施設は一度作ったらもう作れない。いろんな可能性がある限り、それを排除しないで、町民、議会、町が一緒になって検討すべき。

山本町長 いい意見だが、数年前から着実に進めているので変更は無理。

ふれあい広場はこれでいいのか

福永議員 湧水公園のようなものが計画されているが、農業用水が流れているのではないか。農薬の調査はしたのか。

松岡課長 農業用水が流れて込んで

いる。農薬の調査はこれから確認する。

福永議員 予定地には高圧鉄塔が建っているが、電磁波による健康被害の懸念もある。電磁波の測定はしたか。

松岡課長 確認していない。今後確認し、データとして持っておきたい。

福永議員 公園内に直売所建設計画はあるか。

松岡課長 現段階で明確な計画はないが、国交省とも十分協議の上検討を進めたい。

まちなかギャラリーの決定過程は？

福永議員 「御船川西岸地区の旧家を町が買うらしい」「何か作るらしい」という話は聞こえてきたが、決定過程がよくわからない。どのような検討をして決めたのか。

山本町長 調査をして、事業決定する段階で私が決めた。

福永議員 周辺には駐車場がないが、駐車場の確保に関してどう考えているのか。

藤岡経済振興課長 ふれあい広場から誘導していくのが基本。駐車場問題は総合的に考えて行きたい。

施策決定の手法は？

福永議員 町と議会と町民が一緒になって、初期の段階から施策立案に決定権を持つかかわるべき。その過程を広く公開すればよい。コンサルタントまかせにしてはいけない。

山本町長 議会や町民の意見を反映させながら決めていくのが基本。しかし、町長が提案し、議会で決めるというのが基本なので、このスタイルで行く。



旧御船幼稚園跡地と隣接する駐車場に恐竜博物館ができる予定

Q 街なかギャラリーの予算及び進ちょく状況は。

A 26年度が総仕上げとなる

永山 和人 議員

一般質問



街なかギャラリー 南蔵（耐震後イベント会場）

永山議員 文化的価値がある蔵として、ギャラリーとして、町は購入し利用計画が進んでいる。民間企業であれば購入前に、ここで事業が成り立つのか、将来性はあるのか、そして事業形態、事業予算、維持管理費等を算出して見込みがあれば購入となる。

このギャラリーは最低でもトントンであればいいがマイナスなら失敗である。そこで今、分かっている範囲内での概算の建築総費用、維持管理費、入館者数、そして内部構想を表に出すべきである。そして早め早めに進捗状況を町民に伝え、町民が期待を持って待ち望んでもらえるようにすべきである。

オープンするまでは各業者やコンサルタントが責任を持って行うが、その後は管理者が責任を持たなければ

ならない。町長はどのようにして町民を巻き込んでいかれるのか。

山本町長 都市計画的には旧市街地の再生を、どういうふうに行っていくかが課題であった。この地の活性化に以前より杉本建設の蔵屋敷の購入計画はあったが、一億円ぐらいかかるという事で当時は財源が無く、今まで来ていた。

今回の都市整備事業に取り込めば活用できるのではないかとこの事であった。

土地と建物で約9千数百万で今年は、看板の撤去と白壁を復活させる。

母屋も整備し南蔵は耐震にイベント等に使えるようにする。25年度までハード事業で26年度が総仕上げとなる。出発点をどこに置くかは議論があると思われる。

今年度と来年度で整備を行って、

この後の活用の仕方は永山議員の細かな部分を今から詰めていく。まず南蔵はイベント会場に利用できる。各種団体等が借用されれば意見もいただける。もう一つ住民説明が足りない。関係団体等広く意見も聴いてどういう運営があるか、その意見を反映出来るように、整備すべきではないか。運営は行政がするのではなく行政と民間それと各種団体これが、ベースであり、これをやる事において左岸の位置付としてどう果たすのか、法務局跡地の活用の仕方も含めてやっていく。



南蔵 内側



法務局跡地

永山議員 いずれにしても計画は動き出している。「があ〜っば祭り」のように「街なかギャラリー」ができて町には人が溢れ、「歩けない！何とかしてくれよ！」となるように行政、町民が協力し合っていかなければならない。

一般質問



Q 使用できないプールの対策は

A 新設で検討中

清水 聖 議員

清水議員 御船中学校のプールが何年も使用できないと聞いた。基礎体力を高めることを重視し、豊かな人間性や社会性を養うためにも保健体育の中に水泳の時間もあると思うが生徒は不自由していないのか。

増永教育長 平成18年から施設の老朽化及び循環機器の機能の低下により使用していない。生徒から聞き取りはしていないが、不自由を感じている生徒が多いと思う。スポーツセンターまで行く時間と学校行事の都合で6月と7月に2年生と3年生、9月に1年生の授業を行っている。できれば1学期に全学年実施したい。この2点が学校が不自由と感じている。

清水議員 使用できない理由は何か。

米満学校教育課長 昭和43年に建築され今年で築43年になる。

清水議員 中学校のプールの使用できない理由を解消するにはどのくらい費用がかかるのか。

増永教育長 調査が必要だが、現時点では改修ではなく新設という方向

で検討している。

清水議員 スポーツセンターを利用しているということだが問題点はないか。

米満課長 スポーツセンターは月曜日が休館日なので月曜日と一般利用の方の少ない木曜日の午後に使用している。

清水議員 保護者からの意見は聞いたか。

米満課長 学校及び保護者からも早急に改修してほしいと要望が教育委員会の方へあがっている。東日本大震災の影響で施設整備事業関係の補助が耐震化事業の予算に流れているようだ。平成24年度に新たな事業として、御船中学校のプールの建設に向け手を挙げているところである。

山間地域の交通アクセスについて

清水議員 先般行った議会報告会のなかで、交通アクセスが悪く買い物



御船中プール

に行くにも不便を感じているという意見があった。日曜日はコミュニティバスは運休なので、祭りなどのイベントは日曜以外に行ってもいいのではないのか。

竹下総務課長 以前、ゴールデンウィークに1～2日間バスを走らせてみたが利用者は0に近い状態だったので今年はとりやめた。があ～っば祭りなどの場合は相談によっては走らせてもいいのかもしれない。どれがよくて、だめなのか選択は難しいが、地域の方からの要望ということなので、関係課と相談しながら検討したい。

清水議員 利用者が少ないということはバスの場所にも問題があると思う。菊池では乗り合いタクシーや福祉タクシーなどを導入している。御船町としてはどう考えているか。

山本町長 福祉タクシーなどは他町で実施されているが、御船町ではどうなのかと発言したことがある。利用される方の軽減は必要だと思うが、バスを回すというのが果たしていいのかもしれない。もう少し検討が必要だと思われる。

清水議員 極端かもしれないが、祭りも中心部だけでなく今年は高木地区、今年は田代の方でとか、各地で持ち回りの祭りも検討してもらいたい。そうすることで、その地域も多少は潤うのではないかと考える。



使用されていない御船中プール

議会運営委員会報告

委員長 田中 隆敏

10月会議について審議をした。

専決処分の報告、条例制定が3、一般会計補正予算、発議第2案は総合計画を議決事件に追加する条例案として提出された。

専決処分報告が多いので、執行部に申し入れをした。

民生文教常任委員会報告

委員長 佐藤 俊明

9月8日に開いた。

旧御船幼稚園跡地に建設予定の子育てふれあい館、観光交流センター及び恐竜博物館について現在の進捗状況について担当課から説明を受けた。

恐竜博物館については、現在の役場分庁舎前にある職員駐車場まで建



武道場を改修した現在の恐竜博物館

物が建つ計画となっており委員からは駐車場の問題について質問があった。民間の施設や旅行会社とのタイ

アップなど今後も検討の課題となった。

全員協議会報告

9月5日

町長の報告

法務局が移転しその敷地（建物）を購入している。今後の活用方法については、郡内の関係町の町長並び関係者と協議調整をしている。

報告・協議事項

郵便民営化の見直しに関する請願が、御船、七滝、御船上野郵便局長から提出された。



お仕事ご苦労さまです（御船郵便局）

執行部より議案提出の御船町名誉町民に、埼玉県在住の松永昌一氏の

選定について同意を求める説明があった。

今回開催された議会報告会について、各議員より報告会は年々参加者が減少している。これについては今までの在り方を検証し皆さんで協議し方法を変えていく必要があるとの意見が多かった。

9月8日

町長の報告

教育委員で現在の委員が2期8年ということで、後任を小坂校区のほうからお願いしている。氏名は徳永廣敏さん。陣の方で子どもの教育にかなり熱心であり、人物的にも非常にいいということで、こちらのほうをお願いしたいと思う。

報告・協議事項

6月にいち町民より政治倫理条例に基づく調査請求について、全議員は町税等の滞納がない期限までに納税証明書を提出するように決まっ

たが、何名かの議員の提出がなかった。このことについて個人情報の問題提出後の情報の流出等の意見が各議員より多数あがった。最後に事務局より請求者に対して提出した議員数（名前なし）で滞納無い旨書類で回答しているとの報告があった。この議案の扱いは難しいものであった。

議会改革推進特別委員会報告

委員長 井本 昭光

9月22日（木）に開いた。

執行部からは野口企画財政課長が出席し、10月議会に地方自治法の改正に伴う総合計画策定条例の条例案を提出すると説明を受け、特別委員会としても議会基本条例の一部改正について10月議会に議員提案することを確認した。

次に、8月に開いた議会報告会での議員定数に関するアンケート結果について話し合った。特別委員会としては、平成24年3月までをめどに議員定数を示すこととした。

議会報告会開催する



今年も平成23年8月22日から25日にかけて、御船町85囑託区を10地区に分けて御船町議会報告会を開催した。10会場への参加者は合計238名、質問の件数は133項目となった。前回より100名ほど減少したものの、非常に充実した内容を各地域に応じた視点から意見交換を行った。集約してみると、1)中山間地域の現状と課題、2)町づくり交付金事業関連、3)議員の定数と報酬関係、4)学校教育関係、5)執行部への提案と情報提供、6)議会運用と要望などの6分野となった。以下に、Q&A形式で取りまとめる。

1) 中山間地域の現状と課題

Q 交通アクセスが悪く、バスの本数も少なく、買い物や病院に行けない。保育園バスや、学校への送迎なども含めて、田舎の目線で考えてほしい。

この件については9月議会で3人の議員（P8、P9、P12参照）が一般質問した。

Q ファームポンド計画は前進しているか。

A 議会：現建設予定地で交渉を進めているが、まだ地元の同意は得られていない。今後も丁寧の説明を続けながら年内に方針を決定する。

Q イノシシ対策の電柵の件で今回は無償だったが2割負担となった。県に要望書・意見書を出してほしい。

A 経済振興課：一部負担額については資材費相当分を定額助成となっていたが、全国からの要望が多く熊本県への交付金の配分は要望額の33%である。本町の鳥獣被害対策の新規取組により要望額の約7割の配分あり、残額の約3割を御船町にて負担し、最終的に受益者負担は約8%と決定した。



七滝会場

2) 町づくり交付金事業関連

Q 年々借金が増える一方だが町づくり交付金事業の支払いはどうなのか。住民サービスが低下するのではないかな。

A 議会：町税は昨年より2,200万円ほど減少。昨年より町民税は減少し、国道443号線沿いの建物が増えた関係で、固定資産税は増えている。

Q 新しい恐竜博物館の運営管理、駐車場の確保はどうなっているか。幼稚園の跡地でなくて博物館をみんなの広場に持ってきたほうがいいのでは。

A 議会：運営方法は決まっていないので、町民の意見を聞きながら決めていく。駐車場は必要である。事業として、申請・認可と進行中であり変更は難しい。大型バスはピストン移動の予定で、ギャラリーは駐車場がないので、困っている。常に駐車場問題は出ているが、1つだけやめられるようなプロジェクトではない。

Q 光ファイバーも山間部でも活用できるようになった。企業誘致をしてもらい地元で働ける環境が整えば若者も地元に残ると思う。

A 議会：企業誘致条件がうまくまとまれば、誘致しやすくなると思う。高速にもインターランプが計画されているので期待できるのではないかな。総合計画の中に具体的な案を盛り込むことが必要だ。

3) 議員関係：定数と報酬関係

Q 議員活動は16名で活動されているが、減らせば無理が出るのではないかな。

A 議会：定数を16名にしたときに、段階的に定数の削減も検討するとの意見もあった。今回のアンケートは、

定数についての検討資料とする。次の選挙前の早い時期に定数問題については決めたいと考えている。

Q 議員定数について、定数だけの議論は難しい。現在の議員報酬では議員を専任にすることはできない。仮に10人にして、報酬を年間500万円とする。今の報酬では、若い人は町議には出れない。

A 議会：議員定数については、議会改革推進特別委員会において、平成24年3月をめどに検討する。報酬はその後検討したい。

4) 学校教育関係

Q 御船中のプールが使用出来ずスポーツセンターのプールを使用している。中学校のプールを使用できるようにしてもらいたい。

この件については9月議会において一般質問した（P12参照）。

Q スポーツセンターの屋根は大丈夫か、特にプールの屋根は湯気などで天井部の腐食が心配される。どこかのプールの屋根が飛んだことがある。

A 教育委員会：大雨・台風時にスポーツセンター屋根等の点検を随時実施している。プール屋根裏の腐食調査費を新年度予算に計上することを検討したい。



木倉会場

5) 執行部への提案や情報提供

Q 人口を増やすために玉東町などで行われている施策など議会でも視察され勉強されてはどうか。

A 議会：甲佐町では、町外から住宅をたてられる場合100万円の補助があり人口増に繋がっていると聞いている。議会からも一般質問などで取り扱った経緯もある。

Q 老人ホームオアシスの民営化は人員削減または経営に問題があるか。山間部は高齢者が多く中にはオアシスへの入居を望まれている。

A 福祉課回答：民営化については、行革や町長のマニフェストに掲げられ、検討してきています。民営化の根底には、職員の削減、民でできるものは民でという考えのもと打ち出されたもの。現在オアシスは、平成24年4月目標で民営化に向けて検討中。ただ、民営化の検討する中で協議することが多く、先にずれることが予想される。

Q 地籍調査は実施されているが、山間地は高齢者も多く境界の確定も難しくなるので、七滝地区はいつごろされるのか。

A 議会：地籍調査は1班体制で行うと100年かかる。今は2班体制で行っている。高木地区が終わり、豊秋地区を調査する。早くしないと山間地区は高齢者多いため現地立会が出来なくなる恐れがある。

経済振興課：第6次国土調査事業十ヶ年計画（H22～H31）に基づき地籍調査を行っている状況で、この計画には、七滝地区の予定はない。第7次計画で山間地を検討したい。

Q 2年程前国民健康保険税の増税が否決された。国保特別会計は一般会計からの繰入金が増えてきている。将来、若い世代に苦勞を掛けないために検討する必要があるのではないか。

A 議会：国民健康保険税については平成21年度に増税の提案があったが否決となった。その当時の意見としては、将来



御船町カルチャーセンター会場

的には考える必要があるが、同じ時期に水道料の値上げもあり、町民に一度に多くの負担増がかかるのではなかということだった。それから2年程たった。今後、議会でも取り上げていきたい。

Q ふるさと納税は御船町にもあるか。

A 議会：昨年も町に500万円納税された人がいる。

総務課：地方税法等が一部改正された（平成20年4月30日）ことによるもので、ふるさとに直接納税するのではなく、ふるさとの自治体に寄附をした場合に、所得税や住民税などの控除が受けられる制度のこと。なお、皆さまからいただいたふるさと応援寄附金は、定められた目的のために使われる。平成22年度の実績については、10件で5,250,000円の寄附をいただいた。

Q 災害等が起きた場合、滝尾小学校が避難場所になっているが、各集落に避難場所を設けることはできないか。行き詰まりの道路や離合も出来ない道せめて、救急車が通れる道を考えてほしい。

A 総務課：町が指定している、滝尾小学校の避難場所は、地域防災計画に基づき、第1避難所に適した安全な場所が選定されている。また、第2避難所については、各集落の公民館11箇所の避難場所が設置されており、災害の種類、状況等に応じて避難場所を使用する。

Q 443号線沿いにある店舗の24時間営業の説明会があると広告が入っていた。町で条例を作って規制はできないか。検討してほしい。

A 経済振興課：法律にある規制内容を超えた規制を条例ではできない。大規模小売店舗立地法では生活環境面にもとづく規制をしてあり、規模からの出店規制は困難と考える。

Q 国道445号線小川野・吹野間はカーブ多く事故も発生している。改良工事を早くお願いしたい。また、東上野地区のカーブも併せてお願いする。

A 議会：国道445号は御船から小坂間を工事しているがあと2年で工事は終わる。この工事が終われば七滝地区の工事も施工されると聞いている。東上野地区のカーブは県に伝えておく。

9月1日に増永県議、上益城振興局土木部と岩田議長が確認した。



事故の多い国道445号線 東上野地区 増永県議も視察に同行

6) 議会運用と要望

Q 通年議会の導入で、陳情など迅速になったと思うが、専決がなくなっているが、すんなり通っている。東日本大震災の義援金額でも議会で言っていた金額と違う。これで良かったと思うか。議会の力が及ばないのでは。

A 議会：平成23年3月23日に開いた全員協議会において、執行部に対し東日本大震災の義援金について要望書を出すことを協議し、同日付で要望書を提出した。義援金の専決については、郡内で統一との報告を受けた。専決については仕方のないものもあるが、なるべくしないよう議会運営委員会でも執行部に申し入れしている。

Q 自治基本条例について、議会はどう関わっているのか。主役は町民だ。素案の段階から町民を入れていってほしい。

A 議会：町としても具体的には決まっていないとのこと。議会としても意見を出していきたい。

Q 議会傍聴へ行って感じたことだが、数字の細かい質問などは事前に行政側へ通知して対応してもらいたい。

A 議会：全員協議会で協議し、一般質問のように質問の準備ができるものについてはなるべく事前に調べるようにすることを申し合わせた。質疑の仕方などについても検討したい。

Q 議員の仕事は行政のチェックをすること。議会広報に賛否の公表をしてあるが毎回楽しみにしているが、全部賛成の人もいたかと思う。なんで賛成したのか理由を聞いてみたい。

A 議会：議案を見て、執行部からの説明を受け、疑問に思うことがあれば質問を行っている。議会の中でそれぞれが判断を行っている。

Q 議会を傍聴に行くが、議論が少ない気がする。自分の目や耳で聞いて判断してほしい。

A 議会：議論の場は設けている。各議員がしっかり考えることだ。

Q 最近、損害賠償請求などの議案が多く出ている。町外に視察に行くのではなく、まず町内の視察を行ってほしい。住民とのつながりが深まれば議会報告会に参加する人も増えると思う。

A 議会：今回の報告会で道路の危険箇所の確認についての要望も受けている。早速、産業建設常任委員会で現地を見に行くようにしている。危険箇所などあったら議会事務局にでも一報入れていただければ産業建設常任委員会でも現地の視察を行う。町内視察についても全員協議会で検討したい。

各常任委員会では現地の視察を行っている。今後も積極的に行動したい。



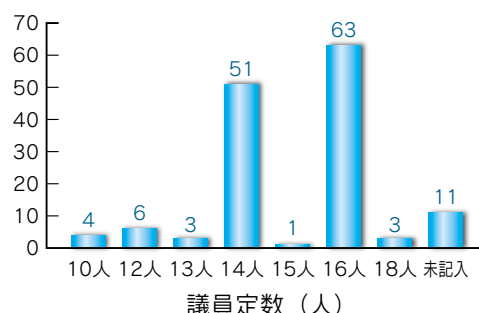
産業建設委員会 現地視察

議会報告会アンケート結果

議会改革推進特別委員会において現在協議中の議員定数について、アンケートを行い、142人の方に回答をいただいた。

現状維持の16人で良いという意見と削減したほうが良いという意見はほぼ同じ数字であった。

議員定数（人）								
10人	12人	13人	14人	15人	16人	18人	未記入	合計
4	6	3	51	1	63	3	11	142



アンケート内容（議員定数について）

(1) 定数を減らした方がいいという意見

議員定数の理由	年齢・性別	議員定数
・校区の代表ということで、多くても14人くらい。	60代男性	10
・（校区）地区代表1名とする。	80代以上男性	10
・財政負担の軽減もあるが、総額をそのまま1人分の報酬を上げるという考え方もある。	50代男性	12
・町民と代表としての意識を持った議員、勉強した議員が少ない。だから、もっと人数は少なくてもいい。	50代女性	12
・職業議員として御船町のためがんばってほしい。町の仕事をする人が、議員に出ないように。	50代男性	12
・人口1,500人に1人位。	70代男性	13
・候補者の数から見て。	60代男性	13
・町の予算額・人口から見て、14人位が適当と思う。	50代男性	14
・少数精鋭、人件費削減。	50代男性	14
・人口も増えない状況では少しでも減らすべきだと思います。	60代男性	14
・人口、面積等から見て。	60代男性	14

(2) 定数は現状でいいという意見

議員定数の理由	年齢・性別
・町の地域を把握する為には人数はそのまま。行財政改革上すすめるのであれば経費（報酬）等の一部削減に対応したらどうかなーと思います。	60代男性
・通年議会が活発に行われていますが議員定数が少なくなれば町民サービス低下になりはしないか。現状でよい。	70代男性
・面積と人口のつり合いで適当だと思う。	70代男性
・山間地の声が行政に届きにくくなり、ますます取り残される。	50代男性
・議会活動の実効さえ上がれば、現状でも良いと思います。極端に少なくなると支障が出ると思います。	60代男性
・定数が減になれば、特定の組織を持っている議員にかたよる。人口の少ない山間地域からの立候補者が出にくくなる。	70代男性

(3) 定数を増やした方がいいという意見

議員定数の理由	年齢・性別	議員定数
・現状のままで良いと思う。定数を減らすと議会の機能低下につながるかもしれない。	60代男性	18



南木倉
渡邊 國朗 さん

安全に楽しく過ごせる町に

議員の方々が積極的に議会の改革に取り組んでおられる中で、通年議会を取り入れられた事で、さまざまな問題についてタイムリーに対応出来るようになり、住民の意見がより身近に議会に届き、私達の議会に対する関心が非常に高まり、議会を傍聴する人達も大変多くなってきたと思います。

又、議会だよりの『あおぞら21』で議会の質疑の内容が掲載され、より多くの住民が議会の内容について、それぞれの議員の質疑を自分なりに考えることが出来るようになりました。

議員の方々は建設的な質問を的確にされ、執行部の姿勢を質す機会も多くなり、より民意が反映された行政になってきていると思います。中には反対ありきで町の計画発展を遅らせるような発言があります。反対意見の中には前向きな建設的な意見を是非々で討議される事を望みます。

私には第二の人生をがんばってありますが、自分の趣味やボランティアをしながら楽しく過ごす努力しております。

テニスをやったりゲートボールをしたり、又、サロンや元氣クラブのサポーターをしながら高齢者の皆様と一緒に楽しんでいます。

又、農業をされている方々と非農家の方々と一緒にいることで、地域の農地・水環境保全に取り組んでおりますが、私達の地域では良い方向に成果が上がってきております。

このような活動を町の中心部で実施しているため、参加仲間にも恵まれながら実行出来ておりますが、山間地では過疎化が進み、スポーツ活動にしてもボランティア活動にしても参加する人達が年々減少しており、その対応が急がれる所です。

高齢者の皆様が安全に楽しく過ごせるように、地元の意見を反映しながら高齢者に対応する政策を議員の方々と一緒に一考が出来ますならと思います。

御船町名誉町民に松永昌一氏

御船町小坂で生まれ御船高校卒業後に自ら水道機器の特許認証を取得された。氏が発明された水道機器は全国規模で活用されており多くの国々でも実績が認められ世

界に誇れる発明者である。故郷である御船、また母校である御船高校への深い思いから「ふるさと納税制度」を活用して多額の寄付を頂いている。今後も支援を続ける意向を示されている。

を添えてくれた。



同級生と久しぶりの再会

10月7日の御船高校創立90周年式典出席のため来熊された時に名誉町民の伝達式が行われた。当日は氏の同級生もお祝いに駆けつけて華

議会の予定 11月

- 1日 静岡県議会議長会視察受入れ
都市計画審議会研修
(~2日)
- 2日 熊本県議員研修会
- 7日 全員協議会
- 9日 熊本県議会広報研修会
- 10日 サントリー会
- 11日 上益城郡議会議長会研修
- 16日 全国議長研修・上益城郡
議長会研修(~18日)
- 21日 総務常任委員会研修
(~22日)
- 24日 議会改革推進特別委員会
研修(~25日)
- 29日 議会運営委員会

編集後記

猛暑であった夏も過ぎ、どの家庭、事業所にも緑のカーテンがよく見られた。電力不足による節電を国民が危機感を持って協力した。

ニガウリ、あさがお、ヘチマなど、その目的に合ったどう棚式、綱を軒先まで張ったり工夫が見られ、緑を身近に、少しでも暑さをしのぐことができたのでは。

役場保健センターの緑のカーテンも空に向かって高い所まで伸び、数々のニガウリが下がっている。

夏バテ防止に最高のニガウリ、来夏のために土づくりをお願いしたい。

ニガウリ生産者の方は市場での値段が安かったと聞く。

(田中 隆敏)

議会広報編集常任委員会

発行責任者 岩田 重成
委員長 田上 忍
副委員長 山田 五郎
委員 佐藤 俊明
委員 田中 隆敏
委員 永山 和人
委員 増田 安至